

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三菱日立パワーシステムズ株式会社 呉工場 呉地区 第一工場

(2) 事業所の所在地

広島県呉市宝町6-9

(3) 業種

ボイラ製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成27年度から平成30年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

2018年度のエネルギー使用量原単位を2014年度比4%削減する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 26 年度	平成 29 年度
二酸化炭素	6,800	7,035

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 26 年度	平成 29 年度
メタン		
一酸化二窒素	11.32	8.44
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

換算作業時間換算作

削減率 (%)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)		削減目標原 単 位	基準年度 (平成30年度)			
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	削減率 (d)	排出見込量 (e)	原単位 見込数 (f)	原単位 見込 (g)	
エネルギー起源CO2			0.0				
非エネルギー起源CO2			0.0				
メタン			0.0				
一酸化二窒素			0.0				
その他 温室効果ガス			0.0				
総排出量			0.0				
(原油換算k1) エネルギー消費原単位	-	-	9.594	19.4	-	-	7.737
目標設定の考え方 目標設定の考え方	平成26年度より原単位4%削減 平成26年度より原単位4%削減						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	灯油使用量の削減	使用予定の灯油量から10%減	熱処理炉操業の製品合積み
2	電力使用量の削減	昨年度から22.2%削減予定	外調機(換気装置)の稼働時間短縮
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

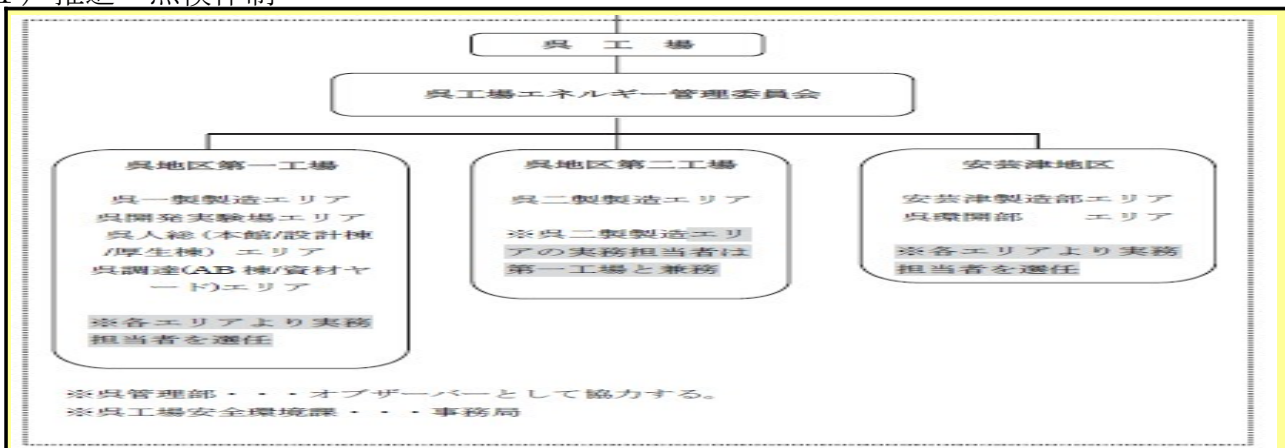
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	その他		・エネルギー管理委員会(数回/年)の開催
2			・環境月間の取組み(第一工場看板照明 ライトダウン) ・クールビズへの取 組み(夏季) ・ウォームビズへの 取組み(冬季)
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

安全環境課を中心として毎年温室効果ガス削減計画の取組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、エネルギー管理委員会において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表